

茅ヶ崎市環境基本計画（2011 年版） 進捗状況報告書(令和元年度版)

平成30年度に実施した環境施策の検証報告と
市民・市民団体・事業者の取り組みに関する報告

クイズ ここはどこでしょうか？



クツワムシ

ヒント

特に重要度の高い自然環境を有する、市内 7 つの「コア地域」
の 1 つであり、引地川水系の小糸川の源流にあたる谷戸です。

答えはこの裏面にあります

令和元年 6 月
茅ヶ崎市

はじめに

「茅ヶ崎環境基本計画(2011 年版)」は、世界的な情勢や国の動向、本市の環境施策に関する動きの変化に対応するため、自然環境や生物多様性の保全、資源循環型社会や低炭素社会の構築を軸として、平成 23 年 3 月に策定した計画です。

本書は「茅ヶ崎市環境基本計画(2011 年版)」に基づき実施した、主な環境施策の取り組み状況の報告書です。本書では、計画に掲げた 19 の目標の進捗状況、37 の重点施策の実施状況、市による実績評価、課題等をお示ししています。また、本年度は、従来から紹介している市民・事業者などによる環境に関する取り組みに加え、日頃から本市の自然環境の保全に御尽力いただいている市民団体の皆様に御協力をいただき、市民から見た自然環境の現況についても掲載しています。

環境の分野は多岐にわたり、マイクロプラスチックを含む海洋ごみの問題等、日々新たな課題が生まれています。こうしたなか、よりよい環境を将来世代に残すためには、私たち一人一人が考え行動することが大切です。茅ヶ崎市内ではすでに多くの市民や市民団体、事業者の方により、環境に関する取り組みが実施されているところです。今後も引き続き、本計画の推進について、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年 6 月

茅ヶ崎市長 佐藤 光

表紙クイズの答え：赤羽根十三図(あかばねじゅうさんず)

茅ヶ崎市環境基本計画(2011 年版)では、平成 15 年度から 17 年度に実施した「茅ヶ崎市自然環境評価調査」において特に重要な地域として挙げた 7 つの地域を、生物多様性の保全、生態系ネットワークの核(コア)となる「コア地域(※)」として優先的に保全するとしています。コア地域の 1 つである赤羽根十三図は、引地川水系の小糸川の源流にあたる谷戸です。平成 28 年(2016 年)3 月に約 2.9ha が特別緑地保全地区に指定されました。谷戸部分を中心に市民との保全管理作業を実施しています(年 4 回程度)。地区の西側を通る市道沿いの草地も生きものの生息・生育環境となっています。

確認されている主な生きものは、クツワムシ、オニヤンマ、ヤマユリ、ツボスミレ、ニホンアカガエル等です。

※コア地域については、本報告書 13 ページの「生物多様性を保全する『核(コア)』として重要な 7 つのコア地域」を御参照ください。